

ナシヒメシンクイが多く発生しています

「幸水」収穫後、晩生品種を対象に薬剤散布を行いましょう

[現在の発生状況]

8月上旬現在，県予察圃場（笠間市）に設置したフェロモントラップへのナシヒメシンクイ成虫の誘殺数は平年より多い（図）。なお，ナシヒメシンクイ二世代成虫の誘殺ピークは，7月第5～6半旬であった。

8月上旬現在，県予察圃場（笠間市）及び地区予察圃場（石岡市，土浦市）におけるナシの被害果率は平年より高い。

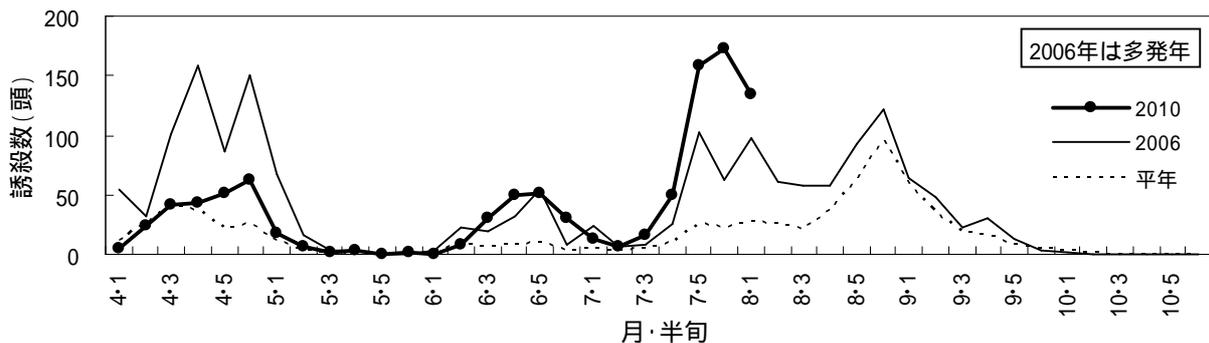


図 ナシヒメシンクイのフェロモントラップ(ナシ園)への誘殺数

[防除対策]

早生品種（「幸水」など）で被害果が目立った場合は，晩生品種（「豊水」など）を対象に，「幸水」収穫後直ちに薬剤散布を行う。

薬剤散布を行う際は，収穫前日数に十分注意する。

薬剤散布は，10a 当たり 300 リットルを目安に果実にかかるよう丁寧に散布する。圃場の周縁部など，薬液のかかりにくい部分に対しては，手散布等により補正散布を行う。

表 ナシのシンクイムシ類に登録のある主な薬剤（平成22年8月4日現在）

薬剤名	希釈倍数	使用時期	本剤の使用回数	有効成分- 有効成分の総使用回数
アデオン乳剤	2000～3000倍	収穫前日まで	2回以内	ペルメトリン-2
ロディー水和剤	1000～1500倍	収穫前日まで	2回以内	フェンプロパトリン-2
スカウトフロアブル	2000倍	収穫前日まで	5回以内	トラロメトリン-5
フェニックス顆粒水和剤	4000倍	収穫前日まで	2回以内	フルベンジアミド-2

農薬を使用する際は，農薬ラベルに記載の使用方法，注意事項等を確認のうえ使用してください。